

## 伴走者として出来ること

所員 松浦 和代

夏休みが明け2学期が始まりました。感染者が増加し、東京都は緊急事態宣言を8月末まで延長とし悲しい事態となりました。それでも、長い夏休みと言うトンネルから抜けた子ども達はパワー全開、お友達に会えたことで会話が弾んでいます。

幼稚園の入園式には、自信がなく挨拶ができないお子さんでしたが、卒園して小学1年生の入学式には元気に「おはようございます」と挨拶ができていました。この挨拶は、親御さんの努力が実を結んだ瞬間でした。

実は、このお子さん、乳幼児のころから親御さんは育てづらさを感じていました。言葉の発音が遅かったのです。日頃ららご挨拶をしていた仲でしたので、親御さんへどのタイミングでアプローチしたら良いか考えていたところ、幸い先方から相談をしてきてくれました。子育てをしている中で、子どものSOSに気付くまでには時間がかかりますが、発達障害の場合、早く支援を始めることで、その子の将来が豊かになり、お子さんに合った道を開くことができます。

「あれっ、うちの子言葉が遅いかも・・・？」 「ひとり遊びが多いかな・・・」

「運動が苦手なのかなあ？」 「お絵かきばかりしている？」

「ほかの子はじっとして座っているのに、なんで座ってられないの？」と思われたことが

ある方も少なくないと思います。でも、決して不安になるようなことはありません。

乳幼児期の健康診断は、プロの方々が慎重によく見て相談にのってくださいます。

この乳幼児健診は大切な事で、素直な気持ちで成長を感じ、また、今後の成長に必要な発見もあります。

私は、公園デビューと言う言葉が出始めのころ、仕事を辞め第一子を出産し育児に専念していました。公園には、1才・2才年上のお子さんが遊びに来ていたのを覚えています。私には妹がいますが男の子を育てた経験がなかったので、子育てで不安なことや疑問に思ったことは、子育て仲間からのアドバイスをもらったり、保健所に相談をしたりしてきました。

昨今、分からないことはネットで調べることができますが、情報量が多くどれが正しいのか分別ができません。

やはり体験談が一番で、身近な方々と知り合い、ひとりで抱えこまずに相談することが一番です。



「なんだ！私だけではなかった」と、共感してお互いにホッとすることもありました。

昨今はコロナで外出もままならずlineやチャット等で顔を見ながらの電話も出来て驚いておりますが、表情をみることでお互いの悩みを分かち合うことができますね。

また、言葉の遅れを防ぐには、沢山の言葉のシャワーを掛けてあげることです。

お父さん・お母さんの口を見て、どのような口の開きをすると、「あ」と言えるのか良く子どもは見ています。

子どもが発した言葉を反復することで、発声を学んでいきます。

嬉しい・悲しい・笑う・怒るの表情で子どもは親の心をくみ取り、親御さんの笑顔が多いほど、子どもの心は豊かに育っていきます。もちろん、いけないことをしていたり、危ないことがあったりした時は、あなたのことが大切だから！と、真剣にしかります。



先日、年子で出産したある親御さんからのご相談の電話がありました。

「私事なのですが、コロナ禍で転職することになり出勤時間が30分早くなりました。子どもに遅刻しないよう送り出しをしています。ですが、何度も遅刻しています。私の言い方がよくないのか、育て方が悪いのか・・・」とのご相談でした。確認してみると、通学路で気になることがあると、立ち止まっていることが分かりました。私は、一日の行動を親御さんに聴き、アナログ時計と行動する内容のコメントとイラストを入れてポスターを作成し渡しました。親御さんには、このポスターを二人のお子さんが良く目にする所に貼ってくださいと伝え、暫くは途中まで送ることもお勧めしました。

それから時間が過ぎ登校時間を守れるようになりました。

個人差がありますが耳だけで判断しづらいお子さんには、目から情報を入れることで理解できることもあります。また、ルーティンができることで、生活が安定し会話も少しずつ増え成長していきます。それには、親子で努力も必要です。

今回の東京2020オリンピック・パラリンピックを観戦し、アスリートの皆さんは、インタビューで、口々に、「サポートしてくれる方々がいたからこそ、この大会に出場できました。感謝の気持ちでいっぱいです」

と、おっしゃっていました。また、国を超えた競技する仲間とお互いに称え合い励まし、よく頑張ったというシーンは感無量でした。

私たちの活動は、このアスリートたちのサポーターと同様に共に助け合い、悩みを分かち合い解決の道を一緒に考えて行くことです。

出来ないことができるようになったことは、伴走者としてもとても嬉しいことで、お子さんの成長は、みんなの幸せにつながります。

これからも伴走者として、地域の応援団として活動して参ります。

いちにち  
一日のスケジュール

あさ おきる  
7:00

1. かおをあらう
2. ごはんをたべる
3. はをみがく

もちものをかくにん  
7:30

えんぴつをけずる

1. れんらくふくろ
2. きょうかしょ・ノート
3. きゅうしょくセット
4. マスク

げつようび  
・つわばき  
・たいそづぎ

がっこうに行く  
7:35

- 8:15 おおきなどびらがしまる
- 8:15~8:25 あさのかい
- 8:25~ じゅぎょうがはじまる



### 松浦和代（まつうら かずよ） 主任児童委員

子どもたちの健やかな成長は、みんなの願いです。私は、これまで、学校との地域、関係機関の絆を深めながら、子どもの発達を支援し一人一人の発達・成長の保障、情緒の安定、生命の安全を守る活動に携わってまいりました。そして、子どもの貧困や非行などの背景、児童虐待とその影響を理解し、子どもの権利擁護のための活動に関わってまいりました。また、放課後子ども教室や子育てサロンなどにも携わり、子育て相談とともに、「遊び」の大切さの啓発、「遊び」の質の向上に努めてまいりました。

今、子育て家庭を取り巻く社会的状況は、大変、厳しいものがあり、社会全体の子育てへの理解と協力を必要としています。

多様な子育て家庭のニーズを汲み取り、個に応じた子育て支援のできる社会になるよう、これからも皆様と共に活動を続けていきたいと思ひます。